

1. 需給見通し

農林水産省は、「砂糖及びでん粉の価格調整に関する法律」(昭和40年法律第109号)により、四半期ごとに砂糖および異性化糖の需給見通しを公表している。令和3年12月に「令和3砂糖年度における砂糖及び異性化糖の需給見通し(第2回)」を公表した(詳細は2022年2月号参照)。

令和3砂糖年度(10月～翌9月)の見通し

【砂糖】

総消費量：176万6000トン(前回見通しから9000トン減)

総供給量：176万2000トン(同6000トン減)

【加糖調製品】

消費量および供給量：46万トン(同4000トン増)

【異性化糖】

消費量および供給量：79万1000トン(同2万トン減)

表1 令和3砂糖年度における砂糖の需給見通し

(単位：千トン)

		令和2砂糖年度 (実績)	令和3砂糖年度				合計	
			10月-12月 (実績見込み)	1月-3月 (見通し)	4月-6月 (見通し)	7月-9月 (見通し)		
消費量	分みつ糖	1,710	456.3	404.2	435.3	434.2	1,730	
	含みつ糖	35	7.2	11.6	9.5	7.6	36	
	合計	1,745	463.5	415.8	444.8	441.8	1,766	
供給量	国内産糖	分みつ糖	772	359.7	375.4	46.2	-	781
		含みつ糖	10	0.7	6.8	3.4	-	11
		小計	782	360.4	382.2	49.6	-	792
	輸入糖	分みつ糖	1,025	248.0	134.7	300.6	278.2	961
		含みつ糖	8	1.7	3.4	2.1	0.9	8
		小計	1,032	249.7	138.1	302.7	279.1	970
	合計	分みつ糖	1,797	607.7	510.1	346.8	278.2	1,743
		含みつ糖	18	2.4	10.2	5.5	0.9	19
		小計	1,815	610.1	520.3	352.3	279.1	1,762
期末在庫		429	556.0	660.4	567.9	405.2	405	

資料：農林水産省「令和3砂糖年度における砂糖及び異性化糖の需給見通し(第2回)」

注1：分みつ糖は精糖ベースの数量、含みつ糖は製品ベースの数量である。

注2：輸入糖の分みつ糖供給量は、機構売買数量である。

表2 令和3砂糖年度における加糖調製品の需給見通し

(単位：千トン)

	令和2砂糖年度 (実績)	令和3砂糖年度				合計
		10月-12月 (実績見込み)	1月-3月 (見通し)	4月-6月 (見通し)	7月-9月 (見通し)	
消費量	460	121.2	111.4	116.6	110.9	460
供給量	460	121.2	111.4	116.6	110.9	460

資料：農林水産省「令和3砂糖年度における砂糖及び異性化糖の需給見通し(第2回)」

注1：改正糖価調整法(平成30年施行)に基づき調整金の対象とされた加糖調製品を対象としている。

注2：消費量は対象となる加糖調製品の輸入量(財務省貿易統計より算出)を踏まえて見通しており、供給量は消費量に見合った量が供給されるものとして見通している。

注3：令和3砂糖年度の消費量は、令和2砂糖年度の輸入実績を踏まえて見通している。

表3 令和3砂糖年度における異性化糖の需給見通し

(単位：千トン)

	令和2砂糖年度 (実績)	令和3砂糖年度				合計
		10月-12月 (実績見込み)	1月-3月 (見通し)	4月-6月 (見通し)	7月-9月 (見通し)	
消費量	750	170.8	171.0	234.2	215.4	791
供給量	750	170.8	171.0	234.2	215.4	791

資料：農林水産省「令和3砂糖年度における砂糖及び異性化糖の需給見通し（第2回）」
注：標準異性化糖（果糖55%ものの固形ベース）に換算した数量である。

2. 輸入動向

【粗糖の輸入動向】

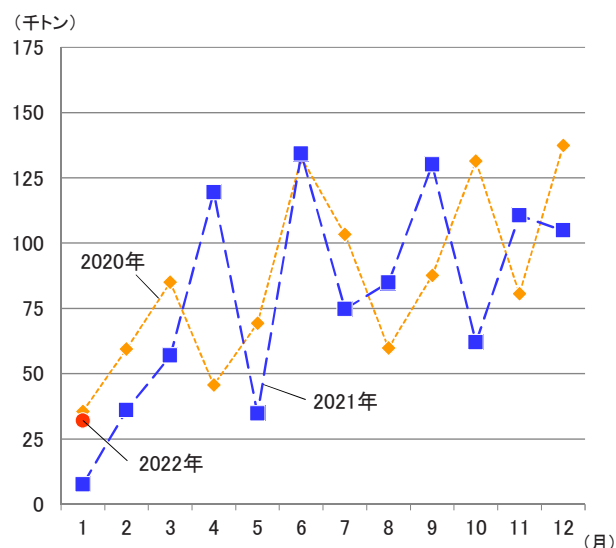
1月の輸入量は前年同月から大幅に増加

財務省「貿易統計」によると、2022年1月の甘しゃ糖・分みつ糖（HSコード 1701.14-110）および甘しゃ糖・その他（同1701.14-200の豪州）の輸入量は、3万1877トン（前年同月比4.2倍、前月比69.6%減）であった（図1）。

輸入先国は甘しゃ糖・分みつ糖については輸入実績が無く、甘しゃ糖・その他については豪州で、国別の輸入量は次の通りであった（図2）。

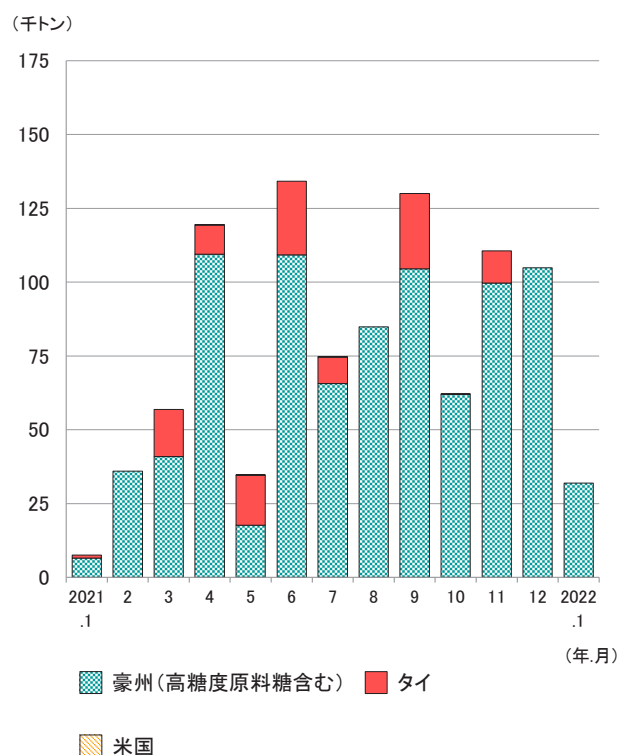
豪州 3万1877トン
(前年同月比4.9倍、前月比69.6%減)

図1 粗糖の輸入量の推移



資料：財務省「貿易統計」
注：HSコード1701.14-110、1701.14-200（豪州のみ）

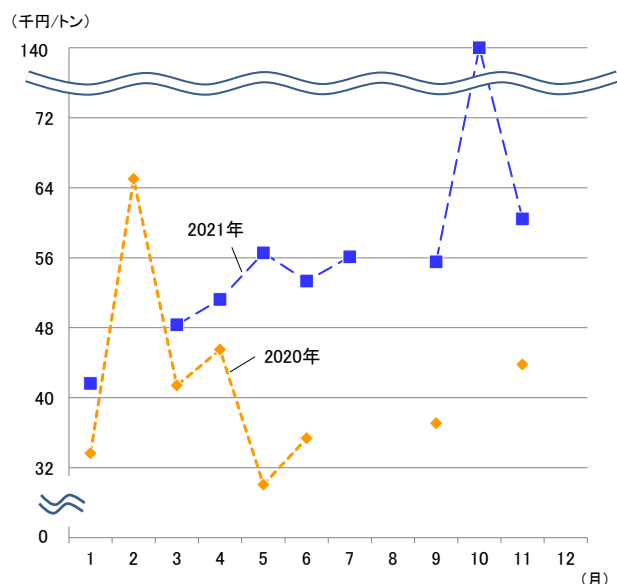
図2 粗糖の国別輸入量の推移



資料：財務省「貿易統計」
注：HSコード1701.14-110、1701.14-200（豪州のみ）

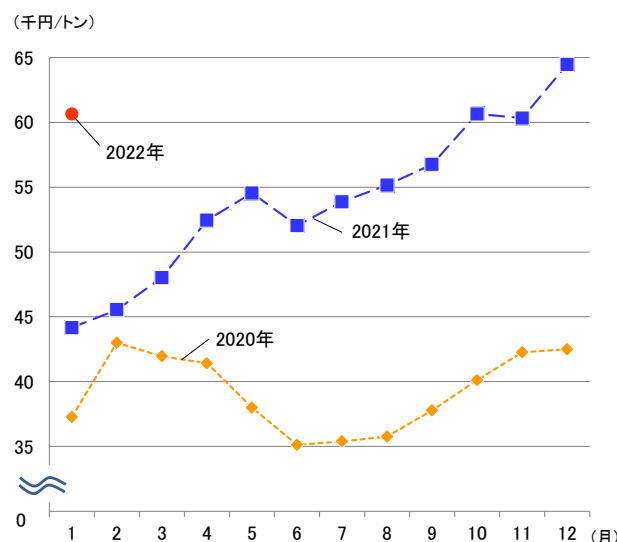
2022年1月の甘しゃ糖・その他の豪州からの高糖度原料糖の1トン当たりの輸入価格は、6万645円（前年同月比37.3%高、前月比5.9%安）であった（図4）。

図3 粗糖（HSコード1701.14-110）の輸入価格の推移



資料：財務省「貿易統計」
注：2020年7月、8月、10月、12月、2021年2月、8月、12月および2022年1月は輸入実績なし。

図4 高糖度原料糖（HSコード1701.14-200の豪州）の輸入価格の推移



資料：財務省「貿易統計」

【含みつ糖の輸入動向】

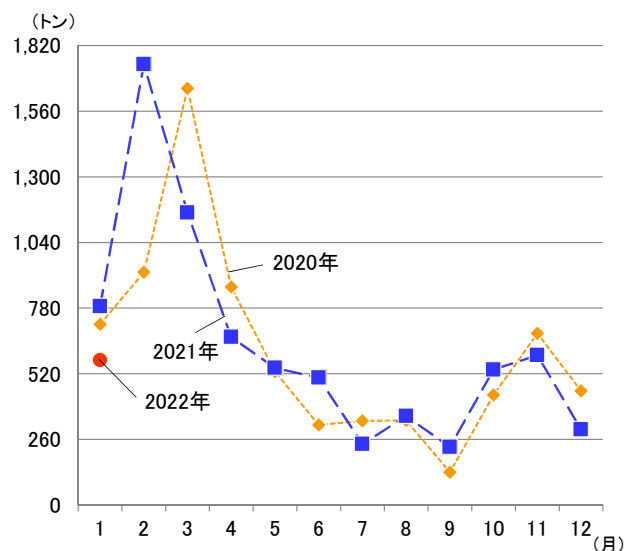
1月の輸入量は前年同月から大幅に減少

財務省「貿易統計」によると、2022年1月の含みつ糖（HSコード 1701.13-000、1701.14-190）の輸入量は、574トン（前年同月比27.1%減、前月比92.0%増）であった（図5）。

輸入先国はタイ、中国、フィリピン、ボリビア、ブラジルおよびインドの6カ国で、国別の輸入量は次の通りであった（図6）。

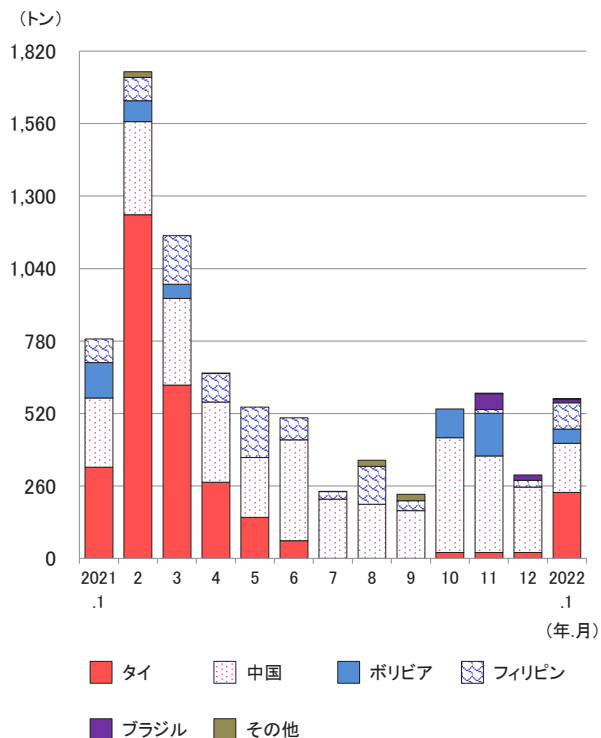
タイ	237トン
	（前年同月比27.5%減、前月比11.3倍）
中国	176トン
	（同29.3%減、同25.1%減）
フィリピン	94トン
	（同11.9%増、同3.9倍）
ボリビア	51トン
	（同59.8%減、前月輸入実績なし）
ブラジル	12トン
	（前年同月輸入実績なし、前月比36.8%減）
インド	4トン
	（前年同月および前月輸入実績なし）

図5 含みつ糖の輸入量の推移



資料：財務省「貿易統計」
注：HSコード1701.13-000、1701.14-190

図6 含みつ糖の国別輸入量の推移



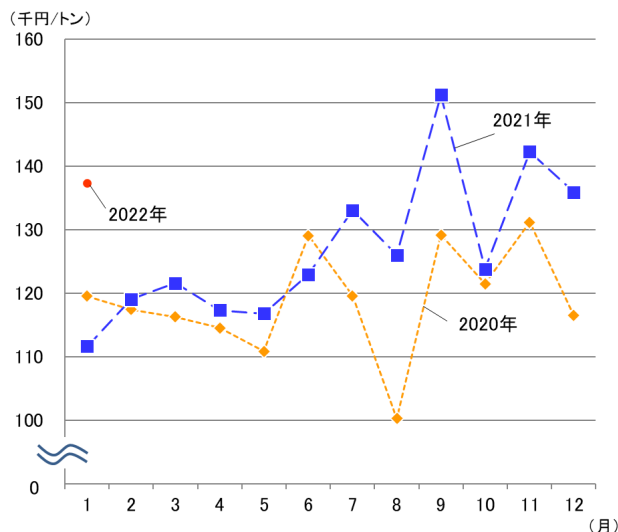
資料：財務省「貿易統計」
注：HSコード1701.13-000、1701.14-190

2022年1月の1トン当たりの輸入価格は、13万7350円（前年同月比23.0%高、前月比1.1%高）であった（図7）。

国別の1トン当たりの輸入価格は、次の通りであった。

タイ	13万401円
	（前年同月比18.8%高、前月比29.3%高）
中国	13万4227円
	（同21.2%高、同11.9%高）
フィリピン	13万8723円
	（同35.9%高、同40.0%安）
ポリビア	13万7020円
	（同9.9%高、前月輸入実績なし）
ブラジル	26万1750円
	（前年同月輸入実績なし、前月比9.2%高）
インド	28万5250円
	（前年同月および前月輸入実績なし）

図7 含みつ糖の輸入価格の推移



資料：財務省「貿易統計」
注：HSコード1701.13-000、1701.14-190

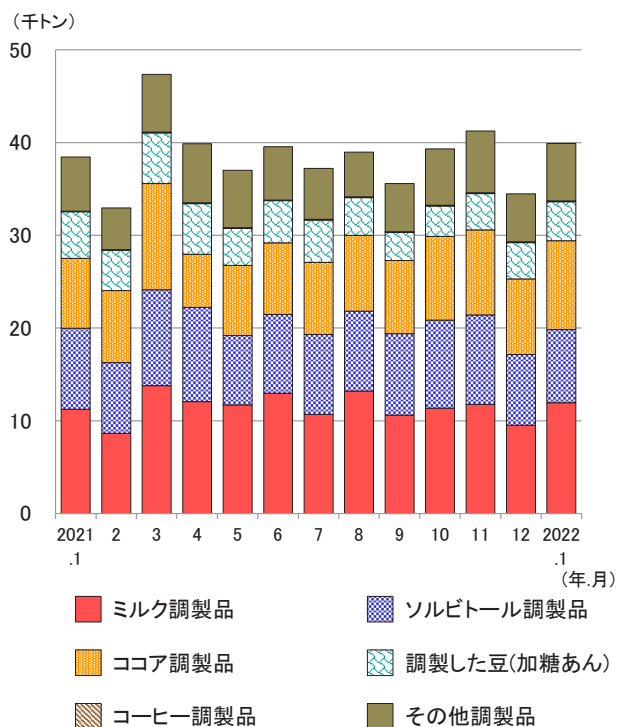
【加糖調製品の輸入動向】

1月の加糖調製品の輸入量は前年同月からやや増加

財務省「貿易統計」によると、2022年1月の加糖調製品の輸入量は、3万9908トン（前年同月比3.8%増、前月比15.8%増）であった（図8）。

品目別の輸入量は、表4の通りであった。

図8 加糖調製品の品目別輸入数量の推移



資料：財務省「貿易統計」
 注：各品目のHSコードは、次の通り。
 ココア調製品：1806.10-110、1806.10-190、1806.20-112、1806.20-113、1806.20-121、1806.20-129、1806.32-212、1806.32-213、1806.90-212、1806.90-213
 コーヒー調製品：2101.11-110、2101.11-190、2101.12-111、2101.12-112、2101.12-246
 調製した豆（加糖あん）：2005.40-191、2005.40-199、2005.51-191、2005.51-199
 ミルク調製品：1901.90-219、2106.90-283、2106.90-284
 ソルビトール調製品：2106.90-510
 その他調製品：2008.99-218、2106.90-590、2101.20-246、2106.90-252、2106.90-253、2106.90-281、2106.90-282、2106.10-219

表4 加糖調製品 品目別輸入量（1月）

区分	輸入量	前年同月比 (増減比)	前月比 (増減比)
ミルク調製品	11,941	6.2%	25.2%
ソルビトール調製品	7,900	▲ 9.6%	3.8%
ココア調製品	9,578	27.1%	17.6%
調製した豆（加糖あん）	4,209	▲ 16.4%	7.5%
コーヒー調製品	88	46.7%	3.0%
その他調製品	6,193	6.1%	19.7%
合計	39,908	3.8%	15.8%

資料：財務省「貿易統計」
 注：端数処理の関係で計と内訳が一致しない場合がある。

3. 異性化糖の移出動向

2月の移出量は前年同月からかなりの程度増加

2022年2月の異性化糖の移出量は、5万5530トン（前年同月比6.3%増、前月比2.4%増）であった（図9）。

同月の規格別の移出量は、次の通りであった（図10）。

果糖含有率40%未満 338トン

（前年同月並み、前月比5.2%減）

同40%以上50%未満 1万5525トン

（前年同月比0.3%増、同3.9%増）

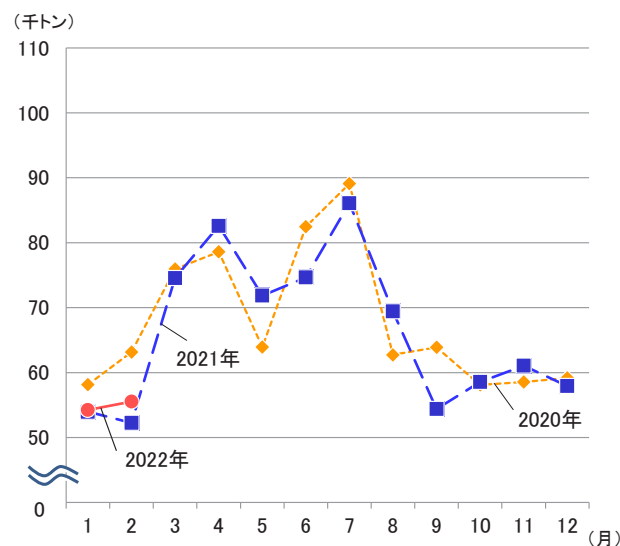
同50%以上60%未満 3万9352トン

（同9.9%増、同1.8%増）

同60%以上 315トン

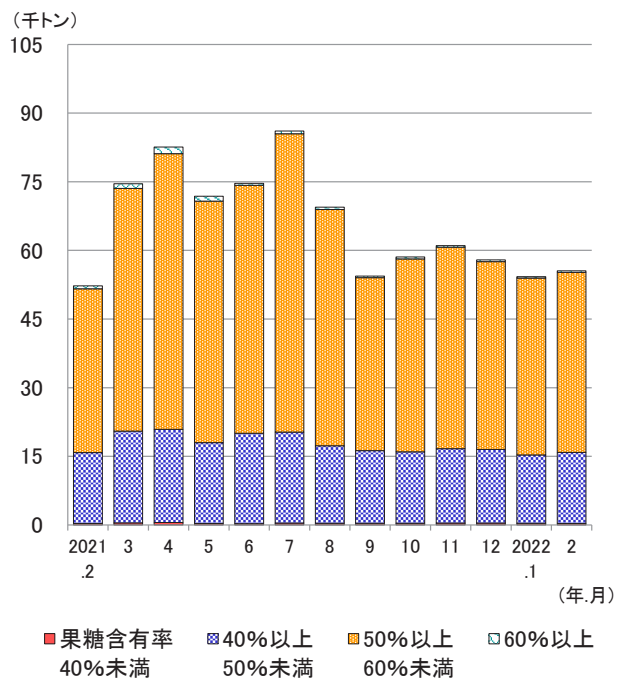
（同49.7%減、同13.8%増）

図9 異性化糖の移出量の推移



資料：農畜産業振興機構調べ

図10 異性化糖の種類別移出量の推移



資料：農畜産業振興機構調べ

4. 価格動向

【市場価格】

砂糖、異性化糖ともに前月と同水準で推移

2月の糖種別・地域別の砂糖価格（日経相場）は、次の通りであった。

上白糖（大袋）

東京 1キログラム当たり204～205円

大阪 同204～205円

名古屋 同208円

関門 同208円

上白糖（小袋）

東京 1キログラム当たり216～219円

大阪 同219円

本グラニュー糖（大袋）

東京 1キログラム当たり209～210円

大阪 同209～210円

名古屋 同213円

ビート・グラニュー糖（大袋）

東京 1キログラム当たり204～205円

大阪 同204～205円

名古屋 同206円

2月の異性化糖の価格（日経相場、大口需要家向け価格、東京、タンクローリーもの、JAS規格品、水分25%）は、次の通りであった。

果糖分42%もの

1キログラム当たり146～147円

果糖分55%もの 同152～153円

【小売価格】

2月の上白糖小袋の地域間の価格差は最大で42.6円

KSP-POSデータ（全国535店舗）によると、スーパーにおける2月の上白糖小袋（1キログラム）の平均小売価格は、202.6円（前年同月差13.1円高、前月差2.2円高）であった。最も高かったのは中国・四国で、最も安かった関東などとの価格差は42.6円であった。

同月の地域別^(注)の平均小売価格は、次の通りであった（表5）。

(注) 地域の内訳は、次の通りである（以下同じ）。

関東など：茨城県、栃木県、群馬県、長野県、山梨県、静岡県

首都圏：東京都、千葉県、埼玉県、神奈川県

中部：新潟県、富山県、石川県、福井県、岐阜県、三重県、愛知県

関西：大阪府、兵庫県、京都府、滋賀県、和歌山県、奈良県

表5 上白糖の地域別平均小売価格（2月）

(単位：円/kg)

地域	平均価格	前年同月価格差	前月価格差
北海道	219.1	21.6	1.6
東北	212.4	14.4	▲ 2.0
関東など	181.5	3.5	▲ 0.1
首都圏	194.1	12.5	6.6
中部	196.0	14.0	5.4
関西	200.7	8.3	0.3
中国・四国	224.1	20.0	▲ 1.0
九州・沖縄	197.5	8.9	3.6
全平均	202.6	13.1	2.2

資料：農畜産業振興機構調べ（原典：KSP-POSデータ（全国535店舗））

2月のグラニュー糖小袋の地域間の価格差は最大で65.5円

KSP-POSデータ（全国535店舗）によると、スーパーにおける2月のグラニュー糖小袋（1キログラム）の平均小売価格は、254.4円（前年同月差10.4円高、前月差1.5円高）であった。最も高かったのは東北で、最も安かった北海道との価格差は65.5円であった。

同月の地域別の平均小売価格は、次の通りであった（表6）。

表6 グラニュー糖の地域別平均小売価格（2月）

(単位：円/kg)

地域	平均価格	前年同月価格差	前月価格差
北海道	222.2	19.9	4.6
東北	287.7	14.4	0.0
関東など	258.2	5.2	1.4
首都圏	261.1	6.1	▲ 0.5
中部	257.6	6.2	▲ 0.0
関西	241.1	9.2	0.1
中国・四国	268.9	11.0	1.1
九州・沖縄	233.8	18.1	7.4
全平均	254.4	10.4	1.5

資料：農畜産業振興機構調べ（原典：KSP-POSデータ（全国535店舗））

2月の三温糖小袋の地域間の価格差は最大で63.3円

KSP-POSデータ（全国535店舗）によると、スーパーにおける2月の三温糖小袋（1キログラム）の平均小売価格は、239.6円（前年同月差11.9円高、前月差1.5円高）であった。最も高かったのは東北で、最も安かった九州・沖縄との価格差は63.3円であった。

同月の地域別の平均小売価格は、次の通りであった（表7）。

表7 三温糖の地域別平均小売価格（2月）

(単位：円/kg)

地域	平均価格	前年同月価格差	前月価格差
北海道	244.3	17.7	6.0
東北	272.9	22.3	5.0
関東など	225.1	13.5	5.0
首都圏	224.4	5.2	0.0
中部	242.6	14.7	2.3
関西	237.7	8.1	0.0
中国・四国	263.3	12.4	▲ 0.1
九州・沖縄	209.6	11.0	0.9
全平均	239.6	11.9	1.5

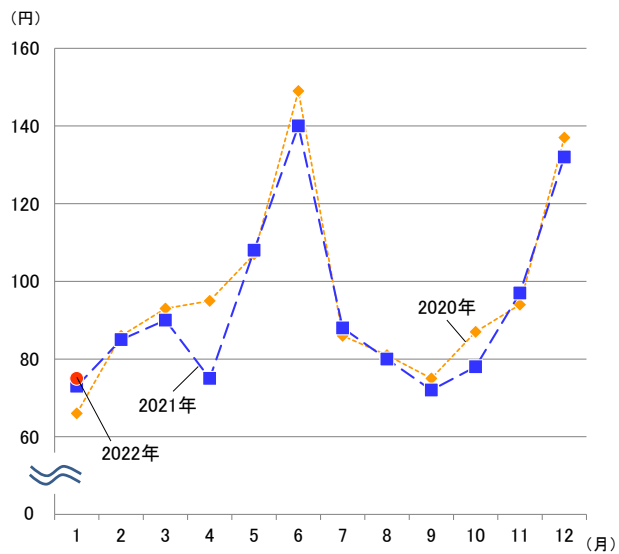
資料：農畜産業振興機構調べ（原典：KSP-POSデータ（全国535店舗））

【購入金額および購入数量】

1月の砂糖の支出金額は前年同月からわずかに上昇

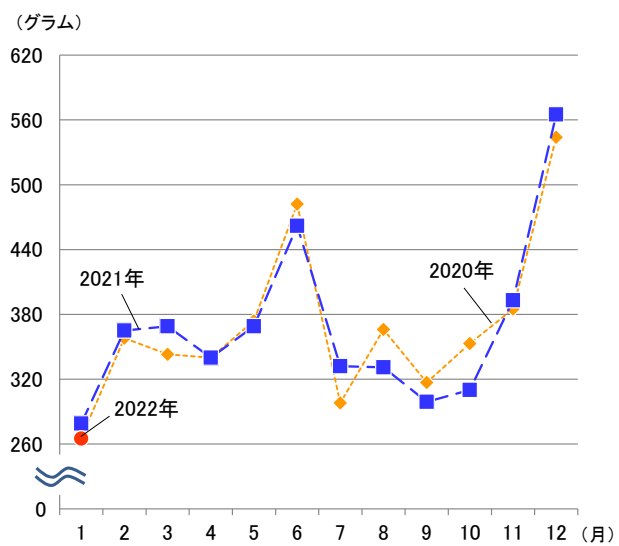
総務省「家計調査」によると、2022年1月における100世帯当たりの砂糖の購入頻度は29、1世帯（二人以上）当たりの支出金額は75円（前年同月比2.7%高、前月比43.2%安）であった（図11）。また、同月の1世帯当たりの砂糖の購入数量は、265グラム（同5.0%減、同53.1%減）であった（図12）。

図11 1世帯当たりの砂糖に係る支出額の推移



資料：総務省「家計調査」

図12 1世帯当たりの砂糖の購入数量の推移



資料：総務省「家計調査」